

第2 専門委員会の検討の進捗状況(概要)並びに検討会議からの意見・指示等

2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

検討課題	専門委員会の検討の進捗状況(概要)	検討会議からの意見・指示事項等
学科・コース等の今後の方向性 (ア)各学科・コース及び系列の検証	<p>【普通科及び普通科に併設されている専門学科】</p> <p>高校生の進路意識・職業意識が薄れてきており、挨拶・協調性など基本的な人間性、社会性も身に付けさせたい。</p> <p>進学率は向上しているが、教師や保護者に比べ、生徒達の大学進学意欲が低下している。</p> <p>全日制高校に併設されている学年1学級の専門学科については、入学時に選びきれない等、機能していない部分がある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>普通高校においては、進学率が向上する一方、進路意識や職業観の育成、さらに、挨拶、協調性など人間性、社会性の育成が求められている。</p> <p>また、普通科に併設されている専門学科のうち、定員に満たない学科については、中学校段階で特化した学科を選びきれないなど、生徒及び保護者の進路意識にそぐわないといった課題がある。</p> </div>	

2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

検討課題	専門委員会の検討の進捗状況(概要)	検討会議からの意見・指示事項等
<p>学科・コース等の今後の方向性</p> <p>(ア)各学科・コース及び系列の検証</p>	<p>【職業学科（職業教育を主とする専門学科）】</p> <p>専門高校では、特色を出そうと工夫し、新しい学科を作ったが、名称から学習内容を想像することが難しく、中学生や保護者、地域の理解が得られていない。</p> <p>専門高校に高いレベルの技術や技能は望まれておらず、人間性や一般的な基礎・基本が求められている。</p> <p>上級の高等教育に進む生徒が増えているので、将来のスペシャリストを育成する教育が重要である。</p> <p>多くは就職することから、キャリア教育に力を入れるべきである。</p> <p>専門教育を受けながらも、産業構造、労働環境の変化に伴い、学んだことが生かせる職場が少なく、将来の展望が描けない学科もある。</p> <div data-bbox="586 639 1581 922" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>これまで専門高校の学科・コースについては、専門化・細分化してき、産業構造、労働環境が変化する中で、学科の内容とその将来性が生徒・保護者に十分理解されていない。また、企業は、専門高校に対し高度な技術・技能ではなく、高校における学習内容をしっかり学び、職業人・社会人としての基礎・基本を身に付けた人材を求めている。</p> <p>さらに、近年の大学等進学者の増加に伴い、将来のスペシャリストの養成に向けた進学指導も重要となっている。</p> </div> <p>【総合学科】</p> <p>将来がよく分からない生徒にとって、「産業社会と人間」やインターンシップを通じて自分の将来や生き方について考えさせることができる非常によい仕組みである。</p> <p>学級数が少ない場合は教員数が少なくなり、多様な選択科目が設定できないなど、総合学科の理念・特徴を十分に生かせていない。</p> <div data-bbox="568 1265 1581 1437" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>進路意識の低い生徒にとって、「産業社会と人間」の学習やインターンシップ等の体験を通じて、自分の将来や生き方について考えさせることができるなど優れた仕組みである。総合学科の理念・特徴である多様な選択科目を設定するためには、施設・設備や教員数の充実が課題となっている。</p> </div>	

2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

検討課題	専門委員会の検討の進捗状況(概要)	検討会議からの意見・指示事項等
<p>(イ)これまで設置した学科・コースの今後の在り方</p>	<p>【高校全体】 細分化、専門化した学科は、将来の進路希望が明確な生徒には良いが、多様で流動的な進路希望を持つ生徒にとっては、学習意欲を失う原因になりかねないので、新たな学科を設置するのではなく、現在ある学科を統合・再編成することにより、教育課程を編成し直し、入学後も多様な進路希望に柔軟に対応できるようにすべきである。 インターンシップによる職業体験や勤労観・職業観の育成が必要。また、挨拶や協調性など基本的な人間性、社会性を教えることが重要である。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>現在ある学科の統合・再編成により、教育課程を編成し直し、入学後も多様な進路希望に柔軟に対応できるようにする。また、職業観、勤労観を育成するキャリア教育の充実を図る。</p> </div> <p>【普通科及び普通科に併設される専門学科】 普通科に併設されていて定員割れしている専門学科は、中学生及び保護者のニーズにそぐわなくなっており、特化する必要がないのではないかと。全日制の普通高校で学年1学級だけ設置されていて定員割れしている学科は、廃止を含めて見直しをする必要がある。 理数、英語等の既存の専門学科をコース制に転換することは、独自の教育活動を展開することが困難になることから、すぐにコース化するのではなく特色を出させるような工夫が必要。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>全日制普通高校で学年1学級だけ設置されていて定員割れしている学科は、中学生、保護者のニーズにそぐわなくなっており、廃止を含めて見直しをする必要がある。 一方、これらの学科を廃止し、普通科のコース制として存続させるのではなく、学科として特色を出させるような工夫も必要ではないか。</p> </div>	<p>普通高校の特色化、多様な学習ニーズという観点で設置してきた理数科や外国語科について、学科の設置基準で、農業に関する学科、工業に関する学科と並んで外国語に関する学科とか理数に関する学科というのが法律にあるわけで、青森県が空白になることどうなるのか、青森県の公教育として必要なことなのか十分検討する必要がある。県内3市にある学科については、いくらかでも残していく必要があるのではないかと。</p> <p>学科の中には途上のものもあり、それを全て積極的に廃止していくという方向では決していないと思う。</p>

2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

検討課題	専門委員会の検討の進捗状況(概要)	検討会議からの意見・指示事項等
<p>(イ)これまで設置した学科・コースの今後の在り方</p>	<p>【専門高校における職業学科(職業教育を主とする学科)】 専門性の基礎・基本を重視した教育課程が必要。 再編、改編、改称の範囲で十分であり、基礎・基本を重視し、これ以上細分化しない方がよい。</p> <div data-bbox="568 379 1581 464" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>専門化・細分化してきた学科を基礎・基本重視の観点で統合・再編する。</p> </div> <p>【総合学科】</p> <div data-bbox="568 576 1581 655" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>次回以降協議</p> </div>	<p>統廃合の組み合わせで、よく分からないのが総合学科です。新しい形の総合学科というのは統廃合をする上であり得るのか。</p> <p>統廃合の組み合わせは、どんな組み合わせも不可能ではない。全国的には、商工などもあり、年間行事、教員数、場所がきちんとしていれば別に問題ない。(再掲)</p>

2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

検討課題	専門委員会の検討の進捗状況(概要)	検討会議からの意見・指示事項等
<p>(ウ)普通科における全日制 単位制の在り方</p>	<p>現在進めている学校の実績を検証した上で、もう少し時間をかけて検討すべきである。</p> <p>社会の変化と多様な進路志望への対応という点で、普通科における全日制単位制は非常に優れた方法である。細分化、専門化しすぎた学科・コースは、不本意入学の原因となる可能性があり、基礎的な普通科目を履修しながらある程度の選択科目を履修できる単位制普通科は、多様な進路志望に柔軟に対応できる可能性が高い。</p> <p>単位制は形式的には可能だが、実際に機能させるためには、教える側の体制、施設・設備の問題があり、十分な効果は期待できない。</p> <p>施設・設備、教員配置に制限があり、中規模以上の学校でなければ導入は難しい。</p> <p>学年に制約されず必要な単位を柔軟に履修・取得が可能な制度であることから、不登校の生徒が自分のペースで学習できるなどのメリットがある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>第2次実施計画により設置された学校の実績の検証・評価を踏まえて、今後の方向性を検討する。</p> </div>	

2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

検討課題	専門委員会の検討の進捗状況(概要)	検討会議からの意見・指示事項等
<p>(工)新しい学科等の設置の必要性</p>	<p>社会の変化や喫緊の課題に対応した新しい学科については、将来を展望した慎重な検討が必要である。 基礎、基本が求められており、再編、改編、改称等の範囲で十分である。 新しい学科の必要性はない。 青森県でなければならない学科(県の人材、人の資源利用)、下北地区にあっては、原子力学科、海洋系科学学科、観光学科の設置が考えられる。 専門高校の進学率が向上している中、進学を目指す専門学科があってもよい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>基礎・基本が重視されていることから、新しい学科の設置は行わず、既存の学科の統合・再編を行い、教育課程の充実を図ることが必要である。 地域性に応じた新しい学科の設置や進学対応の学科の設置があっても良い。</p> </div> <p>【高山委員長説明】 ・原子力については、専門性の高い教育があって、はじめて活躍できる場が近くにあることから、今、想定されるカリキュラム、或いは教育内容では到底到達できないのではないか。 ・基礎、基本とか、オールラウンドな部分を充実させ、人間として、社会人として立派に近くの大企業で働けるような資質、素質をもった人を育てれば、地域に残るのではないかと。 ・高校教育の中で、原子力に特化したものでなく、「エネルギー」とか「環境」ということであれば話は別であるが、今回の要望については、我々は現段階では前向きに検討することではなく、将来の展望として関連した色々なサービス部分を地域に任せようとしているので、そういうニーズに対応した新しいコース、学科を検討すべきと考える。</p>	<p>〔全体について〕 専門委員会の検討状況として、新しい学科の設置は行わないと言いながら、地域に応じた新しい学科や進学対応の学科の設置があってよいなど結論がどちらとも取れる玉虫色の結論では困る。</p> <p>〔要望があった学科の設置について〕 原子力関係学科 原子力に特化したものではなく、環境やエネルギーという大きな項目がよいのではないかと。</p> <p>原子力エネルギーの専門学科を作ることとは否定的だが、環境エネルギー学科という形があるのではないかと。</p> <p>地域性を考えれば、むつ工業高校にある学科の中で、放射線の扱いに関する分野の科目を勉強させていく手段もあるのではないかと。</p> <p>はじめから狭めてしまうと最初からそこに行きたいという生徒が非常に少なくなり、出てからも行くところも限られてくるので、特定の細かい分野でないのがよい。</p> <p>高大連携の考えで作るべきだと思う。場所的には、むつに作るの望ましいが、作ったとしても他の地域から生徒は行かないだろう。</p> <p>需要と供給の問題がある。観光科は需要があるうちはよかったが、今はないため定員割れしている。狭い範囲での学習は、返って足かせになって、生徒に不利になるのではないかと。むつ工業高校の「くくり募集」により、その中で対応できるのではないかと。</p> <p>介護・福祉関係学科 介護学科など既に私学が設置している学科について、敢えて進出する必要はないのではないかと。</p>

2 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等の在り方

検討課題	専門委員会の検討の進捗状況(概要)	検討会議からの意見・指示事項等
<p>(オ)統廃合による、新しいタイプの高校の可能性</p>	<p>専門高校を統合する場合は、総合的な専門高校が望ましい。農業、工業、商業などの統合により、生産・経営・流通・設備等を総合した新しい視点の教育が考えられる。</p> <p>専門高校の統合は、他県の実施例、成果もあり十分可能である。多様化する生徒への対応、学科を越えて特色ある学校づくりの面から一考の価値がある。</p> <p>統廃合による新しいタイプの高校を考える場合は、新校舎を建設すべきと考える。既存の施設、設備を流用し、複数の校舎を生徒・教員が移動することは、教員配置、学校行事、時間割の面で様々な問題が生ずる。</p> <p>他県の事例から、課題もあり、統合せずにネットワーク的なつながりの中で互いに成長できる方向がよいのではない。</p> <p>普通高校と専門高校の統合は、教育課程の編成上無理が生じるので好ましくない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>異なる分野の専門高校の統合は、他県に事例もあり、生産、経営、流通・設備等、総合的に産業を学習できるなど、新しい視点による教育の可能性が期待できる。統合する場合は、新しい校舎の建設が理想であり、既存の施設を流用し、教員や生徒が移動する方法は学校運営上の課題が多い。また、普通高校と専門高校の統合については、教育課程の編成上難しい。</p> </div> <p>【高山委員長説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいタイプの高校については、これからどういう形が可能なのか検討させていただきたいと思えます。 ・産業高校のイメージでビジネスとか起業とかについて、産業分野の縦型ではなく横型であれば十分可能であると思えます。 ・ビジネスの流れを全体にまとめて学ぶような、新しいタイプの高校について考えていきたい。 	<p>専門が異なる分野の高校が一緒になることは難しいと思うが、そうなると統廃合ができないということになる。</p> <p>商業と農業など、専門性の違いはあるが、ビジネスという観点では接点も多い。一緒にしても相性がよいのではない。</p> <p>同種類の高校以外にも順応性があるものもあるのではない。他県の失敗例もあるようだが、何もやらずに相性が悪いから止めておこうということでは、少子化の時代に対応できない。</p> <p>統廃合の組み合わせは、どんな組み合わせも不可能ではない。全国的には、商工などもあり、年間行事、教員数、場所がきちんとしていれば別に問題ない。(再掲)</p>

